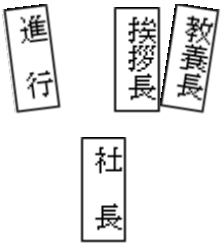
会計人の教養

4

2017 APRIL

学校法人髙橋学園
専門学校 東京CPA会計学院 熊本校

朝礼実習の進め方

	進行役：① 一歩前へ出る ② 目線を全員に配る ③ 15 度の黙礼 ④ 「開始 5 秒前です。姿勢を正してください。」 ④ 元の位置に素早く戻る ＝5 秒後＝ ⑤ 15 度の黙礼 ⑥ 「東京ＣＰＡ会計学院、○○△△（フルネーム)、進行いたします。」 「○月○日○曜日、ただいまより朝礼を始めます。」 「朝の挨拶、○○社長！」 ⑦ 元の位置に素早く戻る
	社長役：① 素早く一歩前（輪の中央）に出る。 ② 目線を全員に配る ③ 「みなさん！」 全　員：　「おはようございます（30 度の礼)」 社長役：④「今日のスピーチ」 全　員：⑤ 15 度の黙礼 社長役：　元の位置に素早く戻る
	進行役：① 一歩前へ出る ②「挨拶実習、リーダー○○さん！」 挨拶長：①「はい！」 ②「挨拶実習を始めます。お願いします！（30 度の礼)」 全　員：「お願いします！」 挨拶長：①「おはようございます！」 ②「おねがいします！」 ③「ありがとうございました」 ④「失礼します」 （各３回繰り返す） ⑤「以上で挨拶実習を終わります！ ありがとうございました（30 度の礼)」 全　員：「ありがとうございました(30 度の礼)」 挨拶長：元の位置に素早く戻る

進行 社長 挨拶長 教養長	進行役：①一歩前へ出る ②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」 教養長：①「はい！」 進行役：　元の位置に素早く戻る 教養長：「お願いします！」 全　員：「お願いします！」 教養長：① 全員の体制が整ったのを確認 ②「〇ページをお開き下さい」 ③「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」 ★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る ★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む ★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」 ④ 全員が落ち着いたことを確認 ⑤「今日の心がけを斉唱いたしましょう」 「今日の心がけ！」 全　員：「〇〇〇をしましょう！」 教養長：「ありがとうございました（30 度の礼)」 全　員：「ありがとうございました（30 度の礼)」 教養長：　元の位置に素早く戻る
進行 社長 挨拶長 教養長	進行役：①一歩前へ出る ② 「以上で朝礼を終わります。」 「ありがとうございました（30 度の礼)」 全　員：「ありがとうございました（30 度の礼)」 進行役：「解散します！解散！」 全　員：「はい！」

会計人の教養

4

ひとりひとりが経営者

1	土	エイプリルフール
2	月	桜の開花
3	火	お花見
4	水	春よ来い
5	木	空前絶後
6	金	新しい発見と知識
7	土	色彩
8	月	入学式
10	火	Ｉｐｈｏｎｅ
11	水	百貨店業界
12	木	新鮮さ
13	金	逆境に学ぶ
14	土	畳
15	月	生き方
17	火	ＩＴの持つ力
18	水	泣いた赤鬼
19	木	ペット
20		

1	土
2	日
3	月
4	火
5	水
6	木
7	金
8	土
9	日
10	月
11	火
12	水
13	木
14	金
15	土
16	日
17	月

一瞬のやる気なら誰でも持てる
けれども、持続性のあるやる気は、
深く認識したものだけに
宿るのである。

学校掲示「今日の言葉 2015年7月31日分」より
※「今日の言葉」とは、名言・格言を自由に書くコーナーです。

21	金	キレートレモン
22	土	命をいただく
24	月	お酒
25	火	強い心
26	水	セブンイレブンジャパン
27	木	体が資本
28	金	会計年度
29	土	昭和の日

18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	

2017 APRIL 平成29年 卯月［うづき］

第3巻4号（通算22号）

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

4/1（土）　エイプリルフール

エイプリルフール、それは嘘をつくことが許される日です。みなさんも、一度はこの日に嘘をついたことがあるのではないでしょうか。

小さい嘘から大きい嘘まで、嘘の内容も様々です。このエイプリルフールには、いくつかの暗黙のルールがあるようです。嘘をつけるのは午前中だけで、午後になったら嘘をついてはいけない。相手が傷つかないウソをつく。嘘をつかれてもやり返してはいけない等です。

では、一体誰が定めたルールなのでしょうか。そもそも、エイプリルフールとはいつから始まったのでしょうか。

実は、いずれも根拠がないのです。現代ではこのような、根拠のない情報や嘘の情報がたくさん溢れています。私たちは、その中から必要な情報を得て、生きていく必要があるのです。

様々な情報がある中、何を信じるかは自分次第です。嘘の情報に惑わされることなく、この情報社会を生き抜いていきましょう。

今日の心がけ◆**情報に惑わされないようにしましょう。**

4/3（月）　桜の開花

春の訪れを感じさせるものと言えば、桜ではないでしょうか。桜は、新年度が始まる時期に開花することもあり、人生の転機を彩る、大事な存在でもあります。

桜が開花するのには、必要な条件があります。それは、冬の厳しい寒さです。桜は、秋に休眠状態になり、冬の寒さで休眠から目覚め、半年もの月日をかけて開花の準備をします。

しかし、桜を含める樹木は、咲く場所を選ぶことはできません。土地や気候が合わなければ、咲くこともできず、枯れてしまいます。それに比べて、私達人間は、場所も生活も選ぶことが出来ます。

数ある選択肢の中、当校で簿記を学ぶことを選択した私達もまた、日商簿記検定1級合格とともに、内定という花を咲かせるための準備期間です。

四季がなければ桜が美しく咲かないように、人生において幸せになるためには、あえて厳しい環境に身をおくことも大切なのではないでしょうか。

今日の心がけ◆**自分の花を咲かせましょう。**

4／4（火）　お花見

春になると、桜が満開に咲き誇り、お花見の季節になります。毎年各地のお花見スポットで桜を眺めながらお弁当を食べたり、写真を撮影しています。

一見楽しそうなイベントですが、会社で行うお花見の場所取りの責任者は大変です。場所取りのために朝早く起き、桜が綺麗に見える場所を見つけ、お花見の準備をしなければなりません。

場所取りをする責任者にとっては、お花見はあまり喜ばしいものではないのかもしれません。しかし、物事の捉え方によって、考え方が大きく異なります。

例えば、朝早くに行くことで誰よりも先に桜を見られると考えると、この仕事が楽しくなります。このように、本来ならあまり気乗りしない仕事も、捉え方ひとつでよい方へと変わっていきます。

みなさんも、気乗りしない仕事などがあるときは、前向きな気持ちで取り組みましょう。

今日の心がけ◆**物事を前向きに捉えましょう。**

4/5（水）　春よ来い

今年もまた、桜の季節がやってきました。休日を利用してお花見に出かける人も多いでしょう。

桜は、日本最古の和歌集とされる万葉集でも詠まれ、日本の歴史や文化・風土に深く関わってきた特別な花です。

日本人にとって最も親しまれている花であり、桜は春の訪れを象徴する花といっても過言ではありません。平安時代の歌人・紀貫之が詠んだ歌があります。

ことならば　咲かずやはあらぬ　桜花　見る我さへに　静心なし

「同じ事ならば、いっそ咲かないでいてくれたら、桜の花を見ている私までも心が落ち着かない。」という意味です。

春は別れの季節であり、また出逢いの季節でもあります。別れを惜しむのではなく、新たな出逢いを楽しみにしましょう。

今日の心がけ◆**新たな出逢いを楽しみましょう。**

4/6(木)　空前絶後

みなさんは、空前絶後という言葉をご存知ですか。

空前絶後とは、これまでに例がなく、またこれからも例がないと思われるほど、非常に珍しいことを言います。非常に大きな成果や盛況であることを形容する時に使われる言葉で、実際に使う機会は少なく、またそのような経験をすることも少ないと思います。

当校では、最年少税理士を始め、日商簿記1級・全経簿記上級合格率9割弱という驚異的な実績を誇っています。まさに、空前絶後な専門学校と言えるでしょう。

このように、通常ありえないと思われることを平然とやってのけることができるのです。

みなさんも、人生において一度は自分の殻から抜け出して、誰もが思いつかない、自分にしかできないと思えることを成し遂げてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆**自分にしかできないことを探しましょう。**

4/7（金）　新しい発見と意識

「学問は、米をつきながらでもできるものなり。」

これは福沢諭吉の名言です。どんな時でも、どんなことでも学ぼうと意識すれば学びとなるという意味です。

私たちは当たり前だと思っていることを意識することが大切です。例えば当校では、月に一回会計人の教養を提出します。内容だけでなく、文章の繋がりや表現方法を意識することで、文章力を磨くことができます。

また、就職活動の中で、履歴書やエントリーシートを書く際に、企業のことや自分で学んだことをどのように表現すればよいのかということも意識するようになりました。

日頃から、小さな事でも新しい発見をするように意識することで、たくさんの事を学び活かすことができるのではないでしょうか。

今日の心がけ◆**当たり前のことを意識しましょう。**

4/8（土）　色彩

みなさんは、身の回りの色を気にしたことがありますか。

色は、私たちが思っている以上に人の心に影響を与えています。色の役割や持っているイメージを知ることで、色に意味を持たせて使うことができます。

例えば、赤は力強く、積極的、青はさわやかで冷静、緑は心を落ち着かせるなど、そのイメージに沿った効果を人々にもたらします。

中国のネット販売の大手企業である、アリババグループは、色彩を利用して、社員が元気に仕事をできるように、社内にオレンジ色を多く用いています。

みなさんも、何気なく使っている物の色を変えるだけで、仕事の効率が上がるかもしれません。

今日の心がけ◆**身の周りの色を意識してみましょう。**

4／10（月）　入学式

入学式は、学校に入学することを許可し、そのお祝いをする式典のことです。誰もがやる気と自信に満ち溢れ、目標に向かって踏み出すのではないでしょうか。

私は、学校生活を通して、簿記はもちろんのこと、人間性も磨くよう努力してきました。

しかし現在、自身の成長を感じられず、自分は何をしたら良いのか、何がしたいのか、自分自身のことが分からずに苦しんでいる人もいるのではないでしょうか。

また、いろいろなことを複雑に考えてしまって、答えが出せずにいる人もいるのではありませんか。

だからこそ、自分が何を思いＣＰＡに入学したのか、今の自分に何が足りないのか、それを補うためには、何をするべきなのか今一度考えてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆**自分に足りないものを探してみましょう。**

4/11（火）　iphone

アップルは、ｉＰｈｏｎｅをはじめとする、数々の革新的な製品を世に送り出し、人々を魅了し続けています。

世界中に熱狂的なファンを生み、爆発的にヒットした理由は、圧倒的な商品力やマーケティング戦略です。また、創業者であるスティーブ・ジョブズのプレゼンも欠かせません。

「神は細部に宿る」という格言がありますが、ジョブズは、プレゼンの言葉、間の取り方、服装、演出、スライド等の細部に徹底的にこだわったとされています。また、妥協を許さず、５分間のプレゼンの準備に数百時間を費やしたといいます。

さらに、シンプルを追求し、伝えるべき本質を短く、具体的に伝えることにこだわりました。つまり、ジョブズのプレゼンは、商品と同様、綿密な計画と自身の努力の賜物であり、一つの作品なのです。

ジョブズのように、細部までこだわり、妥協しない生き方をしてみたいものですね。

今日の心がけ◆**妥協せず、こだわりましょう。**

4／12（水）　百貨店業界

バブル崩壊後、カテゴリーキラーやセレクトショップの登場、ネット通販の普及等によって、百貨店は窮地に追い込まれ、百貨店不況の時代が訪れています。

そんな百貨店不況の状況下、近年業績を伸ばしているのが、熊本県の中心部に位置する「鶴屋百貨店」です。鶴屋百貨店、通称「鶴屋」は、熊本県民なら誰しも一度は足を運んだことのある、熊本唯一のローカル百貨店です。鶴屋はリーマンショックを機に業績不振に陥っていましたが、２０１１年に社長に就任した久我彰登氏の抜本的な改革により、見事業績を回復させました。

久我社長の経営戦略は、「徹底的にお客様に尽くし抜く」ことです。遠方で交通に不便な地域には実質無料のバスを提供し、足下の不自由なお年寄りには「コンシェルジュ・サービス」という従業員がつきっきりの買い物サービスを無料で展開するなど、鶴屋の従業員は、お客様に対して家族のように接することを心掛けています。

また、売れ行きが悪い場所には、他の商品を配置するのではなく、無料で利用できるクラシック音楽の鑑賞ルームや、子供が飽きずに遊べる充実したキッズスペースを設置しました。その結果、売り場面積は縮小したにも関わらず、売り上げは増加し、時代に負けない好業績を実現しました。

現在、深刻な岐路に直面している業界の中、顧客に感動を与え、売り上げを伸ばし続ける鶴屋百貨店の今後に注目してみたいものですね。

今日の心がけ◆**鶴屋百貨店に足を運びましょう！**

4／13（木）　新鮮さ

みなさんは、「劇団四季」をご存知ですか。

劇団四季は、１９５３年に成立しました。俳優・スタッフの数は７００名以上、年間観客動員数は３００万人、日本にミュージカルを定着させるのに大きな役割を果たしています。

そのような劇団四季の稽古場のある四季芸術センターには、次のような言葉が掲示してあります。『慣れ、だれ、崩れ＝去れ』。舞台に慣れてくると、演技の緊張感が薄れ崩れてくる、そのような役者は劇団を辞めなさいという戒めの言葉です。

実際に講演中でも、メインキャストが降板させられることもあるそうです。一見華やかな世界に見えますが、とても厳しい実力の世界なのです。

私たちもこの言葉に習い、慣れを感じないよう、常に新鮮な気持ちで過ごしていきたいものですね。

今日の心がけ◆**慣れ、だれ、崩れに注意しましょう。**

4／14（金）　逆境に学ぶ

みなさんは、水や電気などがある生活に、感謝できていますか。水が出ることや、電気が付くことが当たり前になっていませんか。

当たり前のことに対する感謝の気持ちを忘れたころ、熊本地震が起きました。

電気がつかない、水が出ない、さらには食べ物もない。そのような状況に陥り、今までの、当り前の生活が一瞬にしてなくなりました。

復興するまでの間、不便な生活を強いられ、とても苦しかったことはまだ記憶に新しいと思います。しかし、その反面、当たり前のことの大切さに気づくことができました。

当たり前のように生活が出来ているということが、どれだけすばらしく、ありがたいことか、今一度、考えてみましょう。

今日の心がけ◆**逆境に学びましょう。**

4/15（土） 畳

畳は、日本独特の文化です。もっとも古く残っているものは、奈良時代に聖武天皇が使ったとされる御床畳という、木製の台の上に置かれベッドとして使われたものです。

平安時代に入ると、板敷の間に座具や寝具等として畳が所々に置かれるようになりました。現在のように、部屋全体に敷いて使われるようになったのは室町時代からです。江戸時代では、御畳奉行という役職が作られるほど重要なものになりました。

長い間畳文化が残っているのは、畳の持つ特性にあると思います。畳には、断熱性や保温性があり、高温多湿な日本にとって快適に過ごすことが出来ます。また、畳の原料であるイ草のにおいには、鎮静効果とストレス軽減効果があります。このように、畳は日本人に合った床材なのです。

ところが、最近はフローリングが増え畳の需要が減っています。畳は日本人が独自であみだした伝統的なものです。これからも、このような日本の伝統的な文化を大切にしていきたいものですね。

今日の心がけ◆**畳の良さを再確認しましょう。**

4/17（月）　生き方

自分の人生について振り返ってみたとき、胸を張って、良い生き方をしてきたと言えますか。また、自分の生き様について語ることができますか。

私は、１９年しか生きていないため、そのようなものを語れる年齢ではありません。しかし、偉人に学び、これからの生き方の糧にすることはできると考えています。

みなさんご存知のトーマス・エジソン。彼は電球を発明し、今では発明王という異名を持っています。しかし、彼は小学校の教師に「学習する知能がなさすぎる」と言われていました。また、「生産性がない」と、二回も仕事を解雇されています。さらに、電球の発明に千回も失敗しているのです。

それに対しエジソンは「千度の失敗をしたのではなく、千のステップを経て電球が発明された」と述べました。小学校から学習能力のなかった彼は、失敗を恐れず挑戦し続けることにより、電球の発明に成功したのです。

私はエジソンを尊敬し、見習いたいと思います。そして、エジソンのように、何事にもチャレンジしていきたいです。

今日の心がけ◆**偉人に生き方を学びましょう。**

4/18(火)　ＩＴの持つ力

ＩＴと聞くと、難しいイメージや情報処理のマクロをイメージする方も多いのではないでしょうか。

株式会社ウィズグループ社長の奥田氏は、主にＩＴ企業の国際イベントを手掛け、お茶の間や地域で必要とされるＩＴ製品を企画し、生活に取り入れています。

例えば、ロボットのペッパーくんを町村の介護施設に連れて行き、なかなかロボットと触れ合う機会のない老人の方々にも身近なものとするような取り組みを行っています。

そのような中でも、特に奥田氏が重要とするものは人間力です。ＩＴとは人間の幸せの上に立ってこそ本当に必要なものであり、寄与するべきものだといわれています。

このように、奥田氏はＩＴのスキルに人の良心を寄り添わせていけるようにと願って今の活動を行われています。私達も技術的スキルだけではなく、スキルの土台としての人間力を磨くことも大切にしていきたいものです。

今日の心がけ◆**専門性と人間力を養いましょう。**

4/19(水) 泣いた赤鬼

昔々、あるところに人間と仲良くなりたい赤鬼と、その友達の青鬼がいました。青鬼は、赤鬼が友達ができずに悩んでいることに気付くと、「僕が人間の村で暴れているところを赤鬼君が止めに入れば、赤鬼君は英雄になってきっと友達ができるよ」と言いました。青鬼に申し訳ないと思う赤鬼でしたが、青鬼は強引に決行しました。すると、作戦は成功し、赤鬼は人間と仲良くなりました。

しかし、青鬼は、今まで通り赤鬼と仲よくすると、人間に不信がられると思ったため、赤鬼に「君のことは忘れないよ、人間たちと仲良くやってね」と置手紙を残し、旅に出ていきました。赤鬼はその手紙を読み、涙が止まりませんでした。

人に嫌われることをしてでも、赤鬼の願いをかなえてあげた青鬼は、赤鬼にとって本当の英雄と言えるのではないでしょうか。

人は、みんな自分の事が大好きです。それゆえに、他人よりも自分のことを優先しがちです。

本当の友情とは、自分の幸福だけではなく、どれだけ相手の幸福を考え、相手のために行動を取ることができるのではないでしょうか。

今日の心がけ◆**他者の喜ぶことを考えましょう。**

4/20(木) ペット

ペットは、人の心を和ませたり、楽しませてくれます。近年では、ペットを飼うことで、子どもの健全な心を育むことができるのも、明らかになっています。

しかし、良い影響を与える反面、ペットの諸問題は後を絶ちません。ペットを物扱いして、「飽きたから捨てる」という考え方をする飼い主がペットを野に放ち、帰化動物を作り出してしまうという問題も、世界各地で発生しています。

また、野生化した動物や、戸外を歩き回るペットは見分けがつかない為、ペットが捕獲されたり、罠に掛かったりするトラブルも発生しています。

親が子供を養うように、飼い主もペットを、責任をもって養う必要があります。あらゆるペットは、飼い始めれば家族の一員です。

このことからも、飽きたら捨てるということは、許されるはずがありません。疲れた時や不安な時に癒しを与えてくれるペットの存在に、感謝の気持ちを持ちましょう。

今日の心がけ◆**「感謝」の心を持ちましょう。**

4/21（金）　キレートレモン

キレートレモンとは、ポッカサッポロ&ビバレッジ株式会社が製造・販売している、レモン一個分の果汁を濃縮し、レモン本来のおいしさが楽しめる「瞬間レモン体感飲料」です。

「飲んだ瞬間リフレッシュでき、前向きな気分に切り替えられる毎日を応援します」というキャッチフレーズのもと、販売されています。一本でビタミンCとクエン酸が摂れ、健康や美容にも良いとされていることから、たくさんのリピーターが存在します。

しかし、毎日何本も飲んでいいというものではありません。なぜなら、糖分や香料などが含まれており、ただ純粋にビタミンCやクエン酸のみが摂取できるわけではないからです。

また、飲料補給だとどうしても利尿作用があるため、一度にすべてのビタミンCを摂取することができないのです。

このように、キレートレモンには確かに効果があるものの、その効果の恩恵を受けることが十分にできるとは限りません。そのため、ビタミンCなどの健康や美容に大切な栄養素は、野菜や果物を食べることによっても摂取したいものですね。

今日の心がけ◆**野菜や果物を食べましょう。**

4/22（土）　命をいただく

みなさんは、一度はマグロを食べたことがあると思います。そのマグロがどのようにして、私たちのもとへ届けられるかご存知でしょうか。

海から引き揚げられたマグロは、鮮度を保つために、漁師の手により、頭に太い釘をあてがい、木槌で打ち付けます。次に、頭に穴をあけ、その穴へプラスチック製の棒を背骨に沿って入れていきます。このようにすると、マグロが暴れなくなり、身が焼けるのを防ぐことができます。

マグロは、常に泳ぎ続けるために筋力が発達しています。そのため、引き揚げられた際に暴れると、その筋力で、マグロ自身の体温は５０℃を超え、身が焼けて白くなってしまうのです。

さらに、鰓についている心臓や胃・腸などの内臓をすべて取り出し、約マイナス０・７℃の冷水タンクに保存し、帰港します。

スーパーでマグロの刺身が手軽に買うことができ、回転寿司屋でマグロが食べることができるのも、このような段取りを行っているからです。それは、マグロだけに限りません。動物や植物のすべてに命があります。命をいただいて生きさせてもらっていることに感謝しましょう。

今日の心がけ◆**命に感謝しましょう。**

4/24（月）　お酒

お酒は、日本人であれば２０歳になると、誰でも飲める身近なものです。

百薬の長とも呼ばれ、しっかりと服用量を守れば、血流改善・ストレス解消・人間関係の円滑化というように、心体共に良い影響を与えてくれます。

しかし、服用量を間違ってしまうと不眠・高血圧・胃腸炎等になってしまいます。

また、普段口数が少ない人が、お酒が入ると途端に暴言を吐くなど性格が変わってしまう人もいます。

このように、お酒は薬にもなりますし、病や周りを不快な思いにさせてしまう可能性もあります。特に、お酒を飲み慣れていない若い人達は、最初の内は節度を持って楽しく飲みましょう。

今日の心がけ◆**お酒は楽しく飲みましょう。**

4/25（火）　強い心

みなさんは、お願い事をしたことはありますか。きっと誰もが健康のこと・家族のこと・将来のことなど様々なお願いごとをしたことがあると思います。

京セラの創業者であり、「生き方」の著者である稲盛和夫氏は、幼いころに病気になりました。その時隣の家の女性に勧められて読んだ谷口雅春氏の「生命の実相」という本に書かれてた文章に釘づけになったそうです。

それは、「我々の心のうちには、災難を引き寄せる磁石がある。病気になったのは、病気を引き寄せる弱い心を持っているからだ。」という一節です。稲盛氏は、否定的な心が否定的な現実を引き寄せることを思い知らされ、心のあり方がいかに大切なことかを学んだとのことです。

このことからも、何事にも前向きに考え、一生懸命取り組む強い心を持つことが大切な事であると考えます。

みなさんもこれから辛いことや大変なこともあると思いますが、強い心を持つことで、自分の目標や願いを達成しましょう。

今日の心がけ◆**気持ちを強くもちましょう。**

4/26(水) セブンイレブンジャパン

『近くて便利　セブンイレブン』　ＣＭでも耳にしたことがあるこの言葉ですが、どのような経営方針からくる言葉なのでしょうか。

この言葉には、『便利さは時代によって変化する』という意味が隠されており、時代の少しの変化にも対応する強い意志が表されています。

例えば、商品開発として、毎週、試食や新商品の開発や見直しを行い、季節に合った商品や、現在の流行などに合わせた商品を販売しています。

まるで、その活動に身をよせているかのように、私達自身もセブンイレブンの商品に関心を持ち、その棚から商品を手にとり、購入しているのです。

『近くて便利』このキャッチフレーズこそが、売上高約４兆円を誇る日本一のコンビニ・セブンイレブンの背景なのです。

今日の心がけ◆**物事の背景を考えましょう。**

4/27（木）　体が資本

「体が資本」と言う言葉を知っていますか。この言葉を辞書でひいてみると、「体を壊しては元も子もないこと」とあります。

現在、私たちは簿記の学びをしています。将来簿記を活かして、お金を稼いでご飯を食べていくとしても、自分自身の体が健康でなければ、お金を稼いでご飯を食べる事も難しくなります。

また、体だけでなく、心の健康も大切です。現代人は、仕事や人間関係で悩みを抱えています。いつも穏やかな気持ちを維持することは容易なことではありません。

心の健康を保つためには、睡眠・食事のバランス、体を動かすなどの予防を心がけることです。

社会で活躍するためにも、体と心の健康に配慮した生活を送りましょう。

今日の心がけ◆**資本となる体を作りましょう。**

4/28（金）　会計年度

会計年度とは、一年間の区切りを言います。年度始まりが4月1日から3月31日に定められたのは、明治時代の1886年に遡ります。ではなぜ、そのように区切ったのでしょうか。

それは、当時の主要な収入源は、現代の固定資産税にあたる「地租」でした。秋に米の収穫を行い、それを冬に販売し、その収入の中から「地租」を支払います。

この「地租」の金額の計算や支払時期を考えると、4月1日を年度始めにする事が合理的でした。

また、当時の日本にとって重要な国であったイギリスの会計年度が4月だったことも関係しているようです。

このように、普段当たり前に感じていることも、疑問を持つことで、新たな気づきを与えてくれるのではないでしょうか。

今日の心がけ◆**気づきを大切にしましょう。**

4/29(土)　昭和の日

昭和の日とは、日本の国民の祝日の一つです。「昭和の日」の起源を遡って調べてみると、昭和天皇の誕生日と深い関係があることがわかります。

１９８９年1月7日の昭和天皇崩御により、同年以降の４月２９日はそれまでの天皇誕生日としては存続できなくなり、ゴールデンウィークに影響が及ぶ懸念がありました。

そこで、「生物学者であり自然を愛した昭和天皇をしのぶ日」として「緑の日」とすることにしました。

その後、２００７年に「みどりの日」から「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いを致す」という意味合いで「昭和の日」に名称が変更されました。

祝日にはそれぞれ意味があります。昭和の日のように、時代によって変化することもあるのです。平成が終わると、祝日がまた一つ変化するかも知れませんね。

今日の心がけ◆**祝日の意味を知りましょう。**